



What is SPV ?

サニタリー業界の常識をくつがえす

サニタリーバルブ革命

《既存サニタリーバルブの課題》

- * 分解再組立て(復元)に熟練性と時間がかかる
- * 鋭角な角部が存在し完璧な洗浄が出来ない
- * バルブ内部に洗浄のポケットが存在する
- * CIP洗浄時の洗浄液の流れを阻害する



チューブ本体(接液部)と
フェルールパッキンを
一体化



接液内部の部品
ゼロ



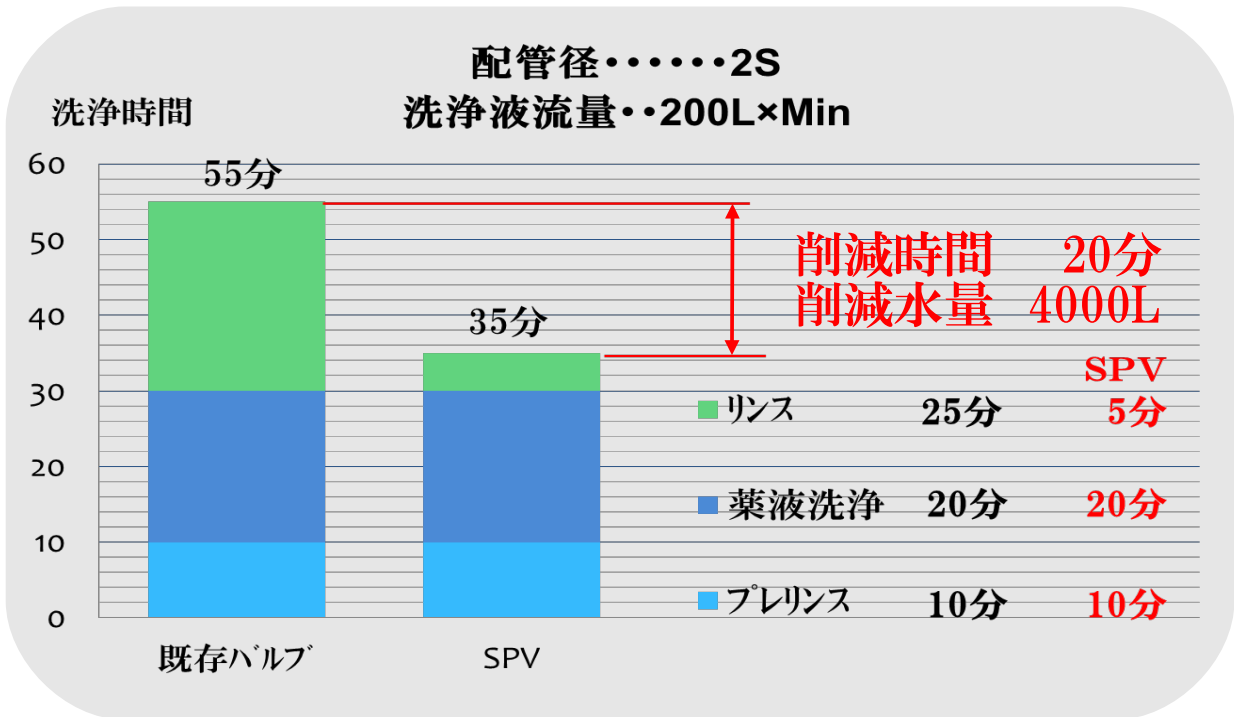
分解・洗浄・復元し易い
シンプルな構造



洗浄死角
ゼロ

洗浄時間・洗浄コストの劇的な削減

◆CIP洗浄シュミレーションforSPV



【コスト効果試算】

①洗浄水量削減による給排水費用削減効果の試算

$$\begin{array}{l}
 \text{1日の洗浄回数} \\
 \boxed{6} \text{ 回}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の稼働日数} \\
 \boxed{25} \text{ 日}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{l}
 \text{1回の削減水量} \\
 \boxed{4,000} \text{ L}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減水量} \\
 \boxed{600,000} \text{ L}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減水量} \\
 \boxed{600,000} \text{ L}
 \end{array}
 \times
 \left(
 \begin{array}{l}
 \text{リンス洗浄水単価/㍈} \\
 \boxed{0.8} \text{ 円}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{l}
 \text{排水処理単価/㍈} \\
 \boxed{0.5} \text{ 円}
 \end{array}
 \right)
 =
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減コスト} \\
 \boxed{780,000} \text{ 円}
 \end{array}$$

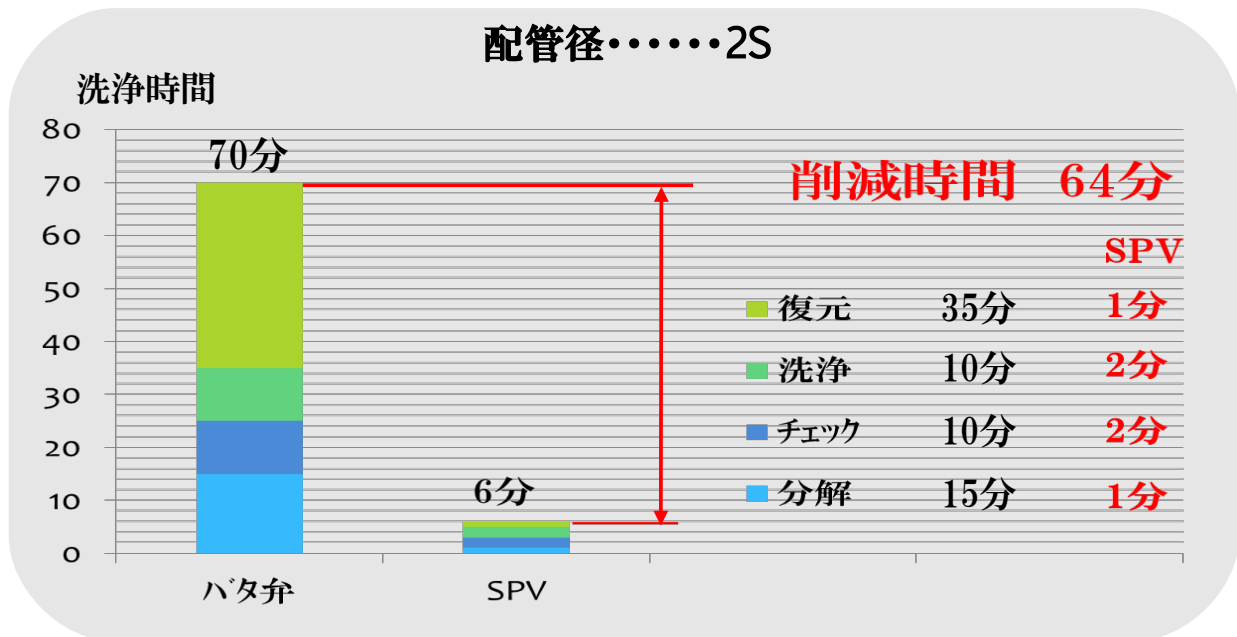
②洗浄時間削減による生産能力向上効果の試算

$$\begin{array}{l}
 \text{1日の洗浄回数} \\
 \boxed{6} \text{ 回}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の稼働日数} \\
 \boxed{25} \text{ 日}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{l}
 \text{1回の削減洗浄時間} \\
 \boxed{20} \text{ 分}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減時間} \\
 \boxed{3,000} \text{ 分}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減時間} \\
 \boxed{3,000} \text{ 分}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{l}
 \text{生産能力/分} \\
 \boxed{1,000} \text{ 円}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の余剰生産能力} \\
 \boxed{3,000,000} \text{ 円}
 \end{array}$$

◆COP洗浄シュミレーションforSPV

配管径……2S



【コスト効果試算】

① 洗浄時間削減による人件費削減効果の試算

$$\begin{array}{l}
 \text{1日のバルブ洗浄台数} \quad \text{1ヶ月の稼働日数} \quad \text{1台の削減洗浄時間} \quad \text{1ヶ月の削減洗浄時間} \\
 \boxed{10} \text{ 台} \times \boxed{25} \text{ 日} \times \boxed{64} \text{ 分} = \boxed{16,000} \text{ 分}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減洗浄時間} \quad \text{時間に換算} \\
 \boxed{16,000} \text{ 分} \div \boxed{60}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{l}
 \text{時間に換算} \quad \text{労働賃金/時} \quad \text{1ヶ月の削減賃金} \\
 \boxed{267} \text{ 時間} \times \boxed{800} \text{ 円} = \boxed{213,600} \text{ 円}
 \end{array}$$

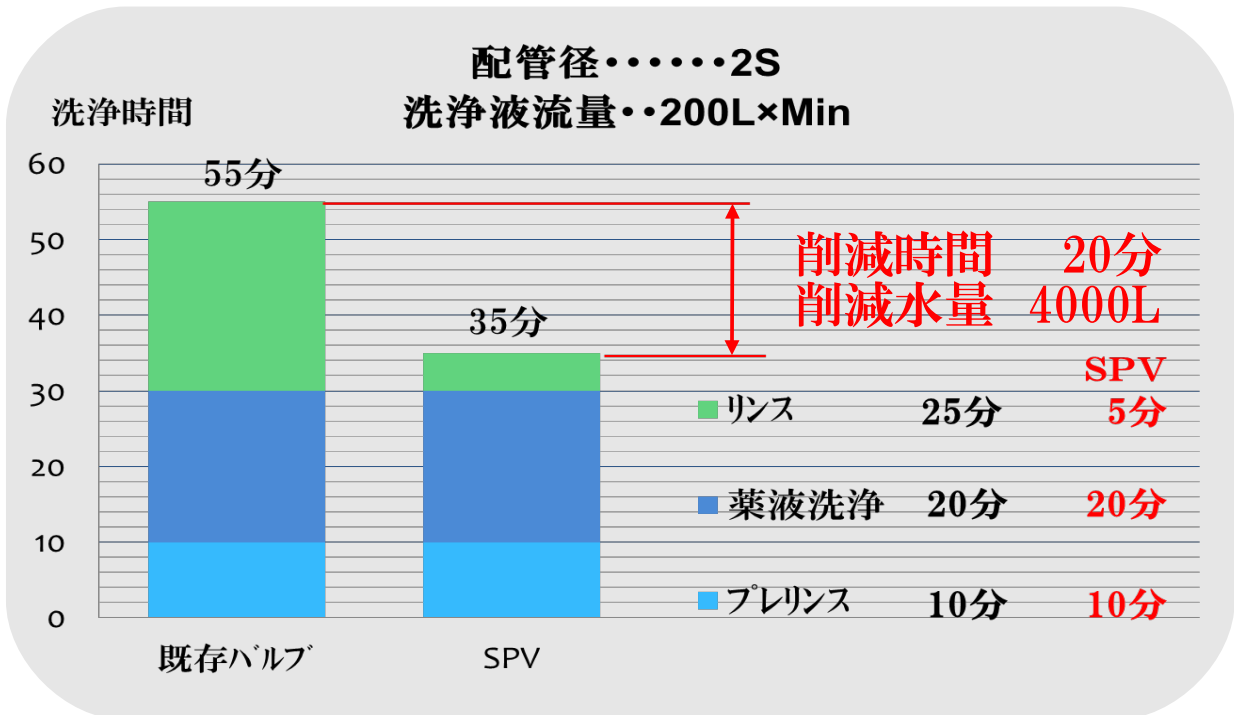
② 洗浄時間削減による生産能力向上効果の試算*洗浄作業人員2名

$$\begin{array}{l}
 \text{1日のバルブ洗浄回数} \quad \text{1ヶ月の稼働日数} \quad \text{1回の削減時間} \quad \text{1ヶ月の削減時間} \\
 \boxed{5} \text{ 回} \times \boxed{25} \text{ 日} \times \boxed{64} \text{ 分} = \boxed{8,000} \text{ 分}
 \end{array}$$

*1日のバルブ洗浄台数÷洗浄作業人員

$$\begin{array}{l}
 \text{1ヶ月の削減時間} \quad \text{生産能力/分} \quad \text{1ヶ月の余剰生産能力} \\
 \boxed{8,000} \text{ 分} \times \boxed{1,000} \text{ 円} = \boxed{8,000,000} \text{ 円}
 \end{array}$$

◆CIP洗浄シュミレーションforSPV



【コスト効果試算】

①洗浄水量削減による給排水費用削減効果の試算

1日の洗浄回数 回 × 1ヶ月の稼働日数 日 × 1回の削減水量 L = 1ヶ月の削減水量 L

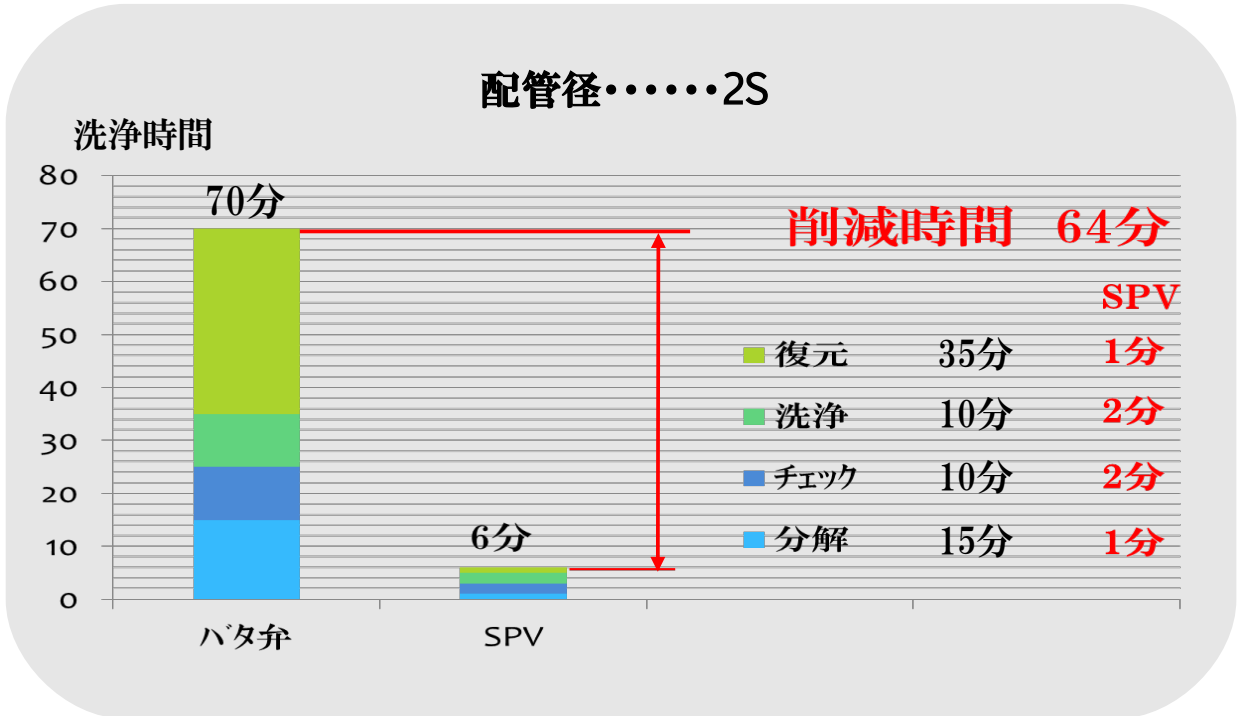
1ヶ月の削減水量 L × (給水単価/ℓ 円 + 排水処理単価/ℓ 円) = 1ヶ月の削減コスト 円

②洗浄時間削減による生産能力向上効果の試算

1日の洗浄回数 回 × 1ヶ月の稼働日数 日 × 1回の削減時間 分 = 1ヶ月の削減時間 分

1ヶ月の削減時間 分 × 生産能力/分 円 = 1ヶ月の余剰生産能力 円

◆COP洗浄シュミレーションforSPV



【コスト効果試算】

① 洗浄時間削減による人件費削減効果の試算

1日のバルブ洗浄台数 × 1ヶ月の稼働日数 × 1台の削減洗浄時間 = 1ヶ月の削減洗浄時間

台 × 日 × 分 = 分

1ヶ月の削減洗浄時間 ÷ 時間に換算

分 ÷

時間に換算 × 労働賃金/時 = 1ヶ月の削減賃金

時間 × 円 = 円

② 洗浄時間削減による生産能力向上効果の試算

1日の洗浄回数 × 1ヶ月の稼働日数 × 1回の削減時間 = 1ヶ月の削減時間

回 × 日 × 分 = 分

1ヶ月の削減時間 × 生産能力/分 = 1ヶ月の余剰生産能力

分 × 円 = 円